



- ①のちをたいせつにする
- ②しきをちえにいかす
- ③がおでかつどうする
- ④れにでもあいさつする

いちえだ



やさしく かしく
たくましく



平成 28 年 5 月 26 日 特集号
校長 高城 直子

平成27年度 学校評価特集

平成27年度から、学校評価の資料として、「教職員の自己評価」及び「保護者アンケート」に加えて、「児童アンケート」を実施しました。また、教職員の自己評価と保護者・児童へのアンケートの項目が関連するように工夫を図りました。それによって、学校評価への客観性を高め、本校教育活動の質的向上を図るとともに、「学校・家庭・児童の元気づくり」に努めたいと考えました。

さらに、これまで「学校評議委員会」として実施して参りました委員会の名称を「学校関係者評価委員会」と変更し、5名の委員の皆様、学期に1回、学校の取組や授業の様子等をお知らせすることで、感想やご意見をいただき、教育活動の充実・改善に努めてまいりました。

そこで、この特集号では、27年度の教職員自己評価と保護者・児童アンケートのベスト3を比較することで、昨年度一年間の教育活動の成果とより努力を要する項目を明確にし、平成28年度の取組に生かしていきたいと考えています。

特に、記述欄にもご意見を寄せていただき、ありがとうございました。成果につながるご意見では「ノートを細かく見て指導していただき、子どもが喜んでいる」や「子どものよさを伸ばしてもらってありがたい」「子どものことをよく考えていただいてありがたい」「学校行事が充実していて楽しい」などのうれしいご意見をいただきました。このように感じていただいたことについては、今後も教職員全員で継続して取り組みたいと思います。

課題につながるご意見でもいくつかいただいております。「無記名の回答のほうがよい」というものがありました。やはり「顔の見える状況でのやり取り」を保持したいと考えています。ネット等における書き込みなども、無記名だからこそ責任がなく、建設的な意見が出にくいというマイナス点が指摘されています。このような理由から、本年度も記名式でお願いいたします。

「1クラスの人数へ不安があります」については、本校の実態として児童数が年々減少していること、4年生以上は原則として1クラスが40人以下学級の編制となることなどから、学級数の増加については厳しいものがあります。その対策として、少人数指導の充実を図ることにより、少しでもきめ細かい指導が実現できるような体制をとりたいと考えています。

その他にも、いろいろなご意見をいただきました。本校の今後の教育活動の充実・改善に向けて、参考にさせていただきます。ありがとうございました。



<教職員自己評価 Best 3>

| | |
|---------------|------|
| あいさつの指導 | 3.31 |
| 保護者への対応 | 3.30 |
| 保護者・地域との関係づくり | 3.29 |

<児童アンケート Best 3>

| | |
|---------------|------|
| いのち・きまりを大切に | 3.60 |
| 自分からあいさつ | 3.50 |
| 学校行事・当番活動への取組 | 3.43 |

<保護者アンケート Best 3> 回答率 92.5%

| | |
|-----------|------|
| 参観の機会 | 3.74 |
| 職員の熱意 | 3.52 |
| 子どもが楽しく学ぶ | 3.43 |

教職員の自己評価及び保護者・児童のアンケートの項目についてAを4点、Bを3点、Cを2点、Dを1点として集計した結果、それぞれのベスト3が上記のようになりました。

【成果】

教職員が「あいさつに関する指導」に力を入れたことで、児童の「自分からあいさつ」の達成感が高まったことが分かります。また、教職員の「保護者への対応」では、児童に関することについて保護者の皆様とともに真剣に向き合ったり、児童と日々しっかりと寄り添って過ごしてきたりした成果が、保護者の「職員の熱意」が感じられたという評価につながっていると考えます。このような保護者のお声をいただいたことで、保護者との信頼関係が築かれていることを感じ、大変うれしく思います。これらは、一校小学校の「よさ」とであると言えます。

【課題】

教育活動において改善すべき課題もありました。教職員の自己評価では、「心の教育の充実」「表現力を伸ばす授業づくり」「個に応じた指導の充実」にさらに取り組む必要があることが挙げられました。保護者のアンケート結果からは、「礼儀正しさの育成」「心の教育の充実」「落ち着いた学級作り」などが他の項目に比べて低い結果となりました。

また、学校関係者評価では、委員の皆様から、成果に見られるような「よさ」を認めていただくとともに、「創造力や発想力を養うこと」「積極性がもっとほしい」などのご意見をいただき、人との交流を通してそのような力を養っていく必要性をご指摘いただきました。

平成28年度も、学校教育目標「自立する一校の子ども」の実現に向けて、成果として出された「よさ」を保ちつつ、課題の部分についても改善を目指して取り組みます。また、保護者・地域とのつながりを大切にしながら、児童、保護者、地域の皆様笑顔になる、信頼される学校づくりに努めてまいりますので、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

